





# Scan Retractor

Edentulous Scan Solution by Fully Digitalizations Workflow

ScanRetractor (スキャンリトラクター) を使用することにより、  
無歯顎や多数歯欠損などの口腔内スキャン精度が向上し、  
さらにスムーズな操作性によってスキャン時間の短縮を可能にします。

## 使用効果

- 口蓋部を明確に認識させます。
- 舌/頬の動きを制御させます。
- 口腔内スキャンのスキャン開始点の役割をします。

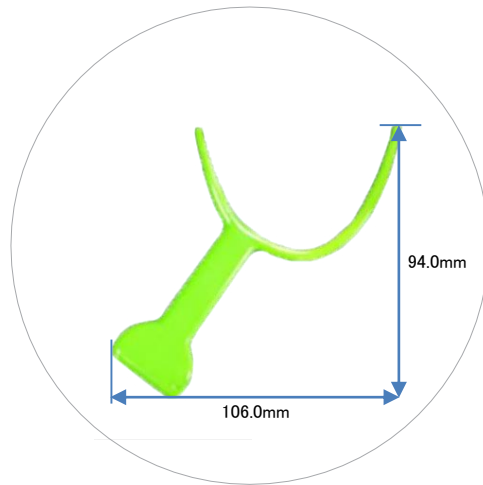
	上顎	下顎
Scan Retractor 使用前	 歯肉歯槽粘膜境の確認が困難	 舌の動きや頬粘膜によりスキャンが難しい
Scan Retractor 使用後	 口蓋部や歯肉歯槽粘膜境を明確に認識	 舌の動きを制御し、さらに頬粘膜を排除

## 形状及び仕様と価格

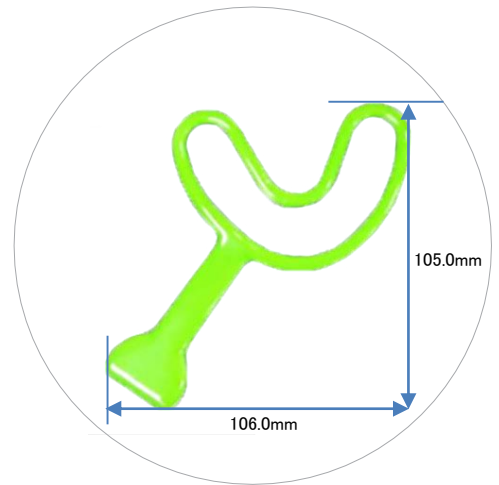
- 材質
  - アルミニウム合金
  - PVC(ポリ塩化ビニル)
- 単回使用
- オートクレーブ不可

1セット(上・下各1個)

定価 - 6,000円(税抜)



上顎用



下顎用

## 使用方法 1

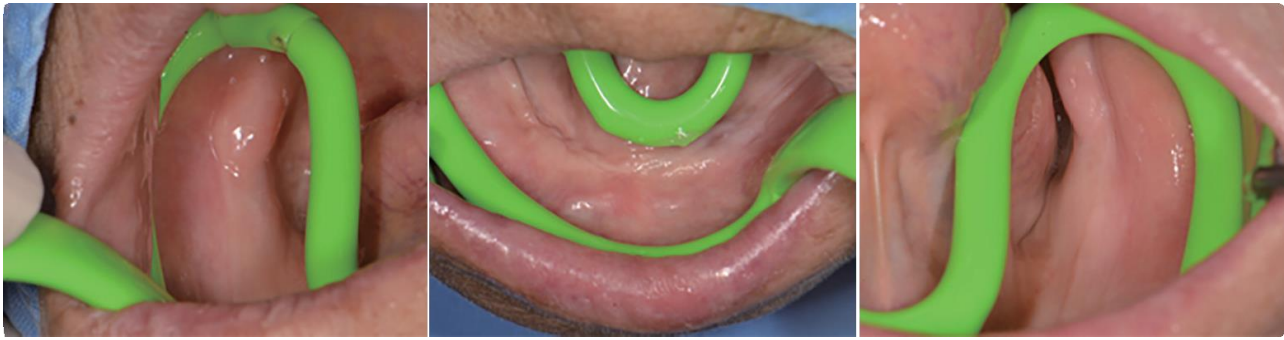


- ワセリンなどを無歯顎患者の口腔内に塗り、適度に保湿します。
- ScanRetractorに水分をつけるとスムーズに口腔内に挿入できます。
- 口唇を指で持ち上げ、ScanRetractorを口腔内に挿入します(グローブ着用)。
- 口唇や頬粘膜がScanRetractorに押されていないか確認します。
- スキャン中はScanRetractorが動かないようハンドルを保持します。
- 使用後は口唇や頬粘膜を傷つけないよう口腔内から取り出します。

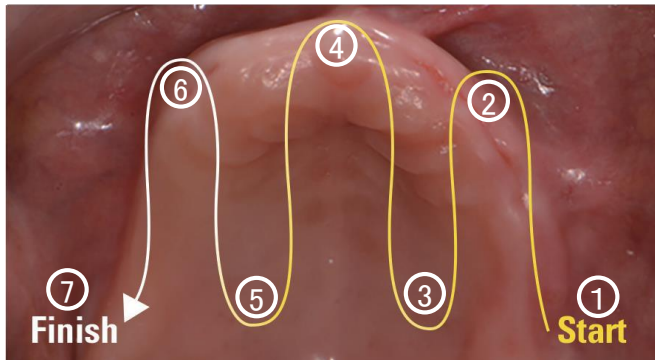
# Scan Retractor

Edentulous Scan Solution by Fully Digitalizations Workflow

■使用方法 2 ScanRetractorを口腔内(顎堤)の形態に適合するように調整が可能です。

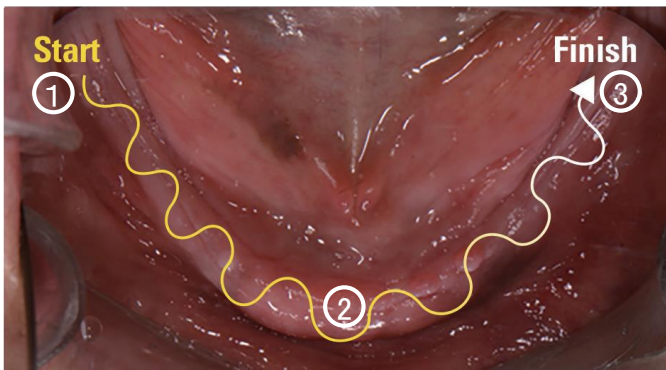


## ■スキャン手順(上顎)



- |                |   |              |
|----------------|---|--------------|
| ① 臼歯部          | ↓ | ⑤ 前歯部から反対口蓋側 |
| ↓              |   | ↓            |
| ② 前歯部          | ↓ | ⑥ 反対口蓋側から前歯部 |
| ↓              |   | ↓            |
| ③ 臼歯部口蓋側       | ↓ | ⑦ 前歯部から反対臼歯部 |
| ↓              |   |              |
| ④ 口蓋側の中心部から前歯部 |   |              |

## ■スキャン手順(下顎)



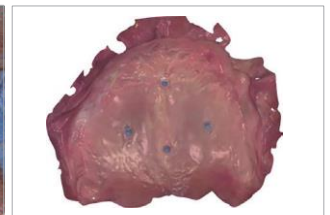
- |         |   |
|---------|---|
| ① 臼歯部   | ↓ |
| ② 前歯部   | ↓ |
| ③ 反対臼歯部 |   |

(舌側 ↔ 頬側・唇側と図のようにジグザグにスキャンを行う)

左右どちらからでも可能ですが、上記のような手順で行うとスムーズにスキャンすることが可能です。

### 使用上の注意事項

- 口蓋が著しく浅く、スキャンが困難な場合、フロアブルレジンを使用することによりスキャンが容易になります。(写真参照)



- ScanRetractorを使用の際に、過度の軟組織の拡張や圧迫に注意します。
- スキャン時、患者様に鼻呼吸を促し、動かないよう注意します。

#### DIOデジタル株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋1-1-1 八重洲ダイビル地下1階  
TEL. 03-3241-5505 FAX. 03-3516-1311

<http://diodigital.co.jp/>

販売名: スキャンリトラクター

医療機器届出番号: 14B1X00006000386